

2022年度 第2回海外作家講演会

1950年代の在日朝鮮人美術史

—造形の特徴を中心に

第二次世界大戦後、帰郷しなかった／できなかった朝鮮人が日本にいました。その中には解放民族として堂々と美術家になることを目指した人たちがいました。異郷の地で美術グループを作り、自らの表現を模索し、展覧会を開催していた彼／彼女たちは、何をどのように描いていたのでしょうか。造形の特徴を皆さんと一緒に考えます。

講師：白 凜 (ペクルン)氏

プロフィール

2009年、東京芸術大学美術学部芸術学科卒。2020年、東京大学総合文化研究科卒。博士（学術）

2016年に一般社団法人在日コリアン美術作品保存協会を設立。現在、同協会代表および独立行政法人日本学術振興会特別研究員として同志社大学で研究している。



2022/5/25(水) 17:40~19:10

場所：第一教室

問い合わせ先：稲垣健志 研究室